

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月 7日

議 会 議 長 様

議席番号 6 番

議員氏名 栗 原 偉 憲

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 誰もが安心して暮らせる町の交通インフラのあり方は	<p>当町では高齢化が進み、車を運転できない方、移動に不安を抱える住民が増えています。一方で、町内の道路や橋などの交通インフラは老朽化が進み、今後は更新や維持に多額の費用と計画的な対応が求められます。</p> <p>このような状況のなかで、町の将来像を支える交通インフラ計画をどのように考えているのか、以下伺います。</p> <p>(1) 道路・橋梁インフラの老朽化対策等の計画策定の進捗は。</p> <p>(2) 更新・修繕の優先順位の考え方や、今後の費用に対する見通しは。</p> <p>(3) 巡回バス「あいあい号」や、巡回バスからタクシーへの乗継補助制度の評価と課題は。</p> <p>(4) 高齢者や子育て世代の移動支援に向けた、オンデマンド交通導入の検討状況と課題は。</p> <p>(5) 地域公共交通会議の開催頻度と住民参加の状況は。</p>	町長 副町長 都市施設整備課長 住民協働課長 福祉課長 総合政策課長 担当課長

5月 7日 午前・午後 8時35分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 公約軽視と町長の政治的責任について問う	<p>町長が、令和4年夏に掲げた4つの優先政策は、単なる目標ではなく、町民との約束であり、町政の契約書と言えるものです。</p> <p>しかし、令和7年4月の広報すぎとに掲載されている「令和7年度まちづくりの方針」においては、「公約」に関する事業は「都市計画道路・下野久喜線」に関する事業しか記載されていない状況です。これらに関連して、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 町長は「公約」をどのようなものと捉えているのか。</p> <p>(2) 「公約」に関する記載は年々縮小しており、公約が進んでいる印象を受けない。町長の認識はいかがか。</p> <p>(3) 当初の公約が町民受けを狙ったものであり、その実現の可能性や実効性が十分に検討されていなかったのではないかと考えるが、町長の見解は。</p> <p>(4) 令和5年4月の広報すぎとに掲載されている「令和5年度まちづくりの方針」では「公約は長期的な方向性として、町の魅力向上や人口減少対策につながるものであり、関連する事業を中心にできることから着手し、確実に前に進めていく」との記載があった。関連する事業とは具体的に何を指し、現在何を「確実に前に進めている」のか。</p> <p>(5) 第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画の策定に伴い、令和6年4月に実施された町民アンケートは、町政運営に町民の声を反映させるための重要な資料であると理解している。このアンケートに町長公約に関する町民の認識や評価をなぜ設問に含めなかったのか。</p> <p>(6) 残り1年の任期において公約の実現が不履行の際は、町民にどのように説明責任を果たし、どのような形で責任を示す考えか。</p>	<p>町長 副町長 教育長 総合政策課長 担当課長</p>